平成26年１月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月13日

上 場 会 社 名	オーエス株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	9637	URL	http://www.osgroup.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 取締役社長	（氏名）	山内　芳樹
問合せ先責任者	（役職名） 経理部長	（氏名）	矢崎　秀成　(TEL) 06-6361-3554
四半期報告書提出予定日	平成25年12月13日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年１月期第３四半期の連結業績（平成25年２月１日～平成25年10月31日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年１月期第３四半期	5,307	3.1	372	△16.4	248	△19.7	129	△18.2
25年１月期第３四半期	5,146	△3.5	446	△4.6	309	△2.2	157	△11.9

(注) 包括利益　26年１月期第３四半期　160百万円(　△7.4%)　25年１月期第３四半期　173百万円(　8.4%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年１月期第３四半期	8.14	―
25年１月期第３四半期	9.96	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年１月期第３四半期	31,199	8,640	27.7
25年１月期	30,622	8,560	28.0

(参考) 自己資本　26年１月期第３四半期　8,640百万円　　25年１月期　8,560百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年１月期	―	2.50	―	2.50	5.00
26年１月期	―	2.50	―		
26年１月期(予想)				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年１月期の連結業績予想（平成25年２月１日～平成26年１月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,010	△6.7	545	△35.4	380	△42.7	△150	―	△9.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：有

④　修正再表示　　：無

（注）詳細は、添付資料３ページ「（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年１月期３Ｑ	16,000,000株	25年１月期	16,000,000株
②　期末自己株式数	26年１月期３Ｑ	149,866株	25年１月期	147,046株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年１月期３Ｑ	15,851,729株	25年１月期３Ｑ	15,853,822株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料３ページ「（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

（参考）個別業績予想

平成26年１月期の個別業績予想（平成25年２月１日～平成26年１月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,370	△7.8	355	△42.8	△175	―	△11.04

（注） 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
四半期連結損益計算書 ……6
四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8
（５）セグメント情報等 ……8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成25年２月１日～平成25年10月31日）におけるわが国経済は、輸出環境の改善や経済対策効果などを背景に企業収益が改善されるなど、緩やかな回復基調にあります。

このような経済環境のなかで、当社グループは、安定した経営・財務基盤を実現するべく、各事業の競争力強化と事業領域の拡大に努めてまいりました。

当第３四半期連結累計期間の成績は、売上高5,307,598千円と前年同期に比べ161,169千円（3.1％）の増収となり、営業利益は372,893千円と前年同期に比べ73,235千円の減益、経常利益は248,259千円と前年同期に比べ61,020千円の減益、四半期純利益は129,111千円と前年同期に比べ28,815千円の減益となりました。

経営成績をセグメント別で見ると次のとおりであります。

（映画事業）

映画事業におきましては、邦画作品では「真夏の方程式」「風立ちぬ」「少年Ｈ」、洋画作品では「モンスターズ・ユニバーシティ」「ローンレンジャー」「ワールド・ウォーＺ」などの話題作品を上映いたしました。特に「少年Ｈ」は、神戸を題材にした話題性と映画館独自の宣伝活動により、好成績を収めております。

本年４月に開業した「ＯＳシネマズ神戸ハーバーランド」（９スクリーン）は順調に稼働し、「ＯＳシネマズミント神戸」と合わせて、神戸地区１７スクリーンにて多彩な番組編成を行ってまいりました。「ＯＳシネマズ神戸ハーバーランド」におきましては、開業にあわせ、直営館初となる自動券売機を導入し、運営の効率化を図ってまいりました。

また、社会貢献活動といたしまして、「阪急阪神　未来のゆめ・まちプロジェクト」に参画し、特別上映会の実施を通じて心豊かな地域文化の確立に取り組んでまいりました。

売上高は2,009,768千円と前年同期に比べ218,911千円（12.2％）の増収となりましたが、「ＯＳシネマズ神戸ハーバーランド」の開業に伴う諸経費の増加により、セグメント利益（営業利益）は94,373千円と前年同期に比べ16,039千円の減益となりました。

（不動産賃貸・販売事業）

不動産賃貸業界におけるオフィスビル市況は、依然として賃料相場の弱含みが継続しております。東京都心５区ではオフィスビルの新規供給が一巡した影響もあり、本年10月末の空室率は7.5％と緩やかな回復傾向にありますが、大阪ビジネス地区では新築大型ビルに成約の動きが見られたものの、空室率は9.8％と依然供給過多の厳しい状況が継続しております。

このような状況のなか、不動産賃貸事業におきましては、空調更新工事やＬＥＤ化工事を実施するなど、環境対策に取り組んでまいりました。当第３四半期連結累計期間末における保有ビルの稼働率は95.6％を維持したものの、賃料水準につきましては厳しい状況で推移いたしました。

不動産販売事業におきましては、共同事業者と推進しております分譲マンション「プレージアブラン東園田」は本年２月より販売を開始し、来年１月の竣工に向け鋭意取り組んでおります。

また、本年１月に取得した大阪府守口市の分譲マンション用地は、「プレージア守口松町 ザ・レジデンス」として本年９月に着工し、販売開始に向け準備を進めております。

売上高は2,101,357千円と前年同期に比べ118,752千円（5.3％）の減収となり、セグメント利益（営業利益）は669,271千円と前年同期に比べ74,265千円の減益となりました。

（ホテル事業）

大阪のホテル業界は、国内旅行やビジネス利用の宿泊需要を下支えに訪日旅行者も増え、堅調に推移いたしました。

このような状況のなか、「梅田ＯＳホテル」におきましては、客室設備の充実を図るとともに、高速無線ＬＡＮサービスを導入するなど、快適な空間の提供に取り組んでまいりました。また、インターネット宿泊サイトにおいて、お客様のニーズに合わせたプランを提供し、稼働率の向上に努めてまいりました。

売上高は508,557千円と前年同期に比べ33,404千円（7.0％）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は89,875千円と前年同期に比べ44,005千円の増益となりました。

（飲食事業）

飲食業界は、景気回復の兆しから消費マインドの持ち直しが期待されるものの、消費者の節約志向は依然根強く、食材や公共料金の高騰による厳しい経営環境が継続しております。

このような状況のなか、飲食事業におきましては、メニューの充実を図るとともに、販売促進活動に取り組み、顧客満足度の向上に努めてまいりました。

売上高は297,872千円と前年同期に比べ15,806千円（5.6%）の増収となりましたが、セグメント利益（営業利益）は12,783千円と前年同期に比べ3,395千円の減益となりました。

（その他事業）

アミューズメント業界は、個人消費の伸び悩みに加え、スマートフォンの普及によるゲームの多様化が進んだことにより、厳しい状況が継続しております。

このような状況のなか、「ｎａｍｃｏ三宮店」は昨年に実施したリニューアルの効果により、堅調に推移いたしました。

売上高は390,042千円と前年同期に比べ11,799千円（3.1%）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は58,624千円と前年同期に比べ2,109千円の増益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は576,479千円の増加となりました。これは主に現金及び預金564,550千円の減少がありましたが、販売用不動産820,943千円、有形固定資産129,924千円及び差入保証金100,449千円の増加によるものであります。

負債につきましては496,264千円の増加となりました。これは主に長期借入金920,492千円及び未払法人税等193,158千円の減少がありましたが、短期借入金1,674,938千円の増加によるものであります。

純資産につきましては80,214千円の増加となりました。これは主に利益剰余金49,853千円及びその他有価証券評価差額金31,759千円の増加によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成26年１月期の通期連結業績予想につきましては、平成25年12月13日に公表いたしました「固定資産の譲渡、特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年２月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第３四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年１月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年10月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,201,259	636,709
売掛金	255,535	242,914
販売用不動産	1,618,289	2,439,232
商品	8,484	11,367
貯蔵品	1,619	2,956
前払費用	84,310	103,496
繰延税金資産	67,362	60,596
その他	12,927	32,060
貸倒引当金	△7,729	△7,777
流動資産合計	3,242,060	3,521,557
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,781,200	23,279,248
減価償却累計額	△12,523,080	△12,865,410
建物及び構築物（純額）	10,258,120	10,413,838
機械装置及び運搬具	245,809	313,701
減価償却累計額	△111,309	△130,040
機械装置及び運搬具（純額）	134,499	183,661
工具、器具及び備品	740,433	890,535
減価償却累計額	△638,033	△673,787
工具、器具及び備品（純額）	102,399	216,748
土地	15,073,710	15,073,710
建設仮勘定	189,303	－
有形固定資産合計	25,758,033	25,887,957
無形固定資産		
ソフトウエア	27,575	88,671
その他	10,849	10,425
無形固定資産合計	38,424	99,096
投資その他の資産		
投資有価証券	397,137	428,736
長期前払費用	204,758	179,134
差入保証金	511,542	611,992
建設協力金	415,136	421,262
繰延税金資産	8,694	10,089
その他	65,424	25,114
投資損失引当金	△38,000	－
投資その他の資産合計	1,564,693	1,676,330
固定資産合計	27,361,152	27,663,384
繰延資産		
社債発行費	19,424	14,174
繰延資産合計	19,424	14,174
資産合計	30,622,636	31,199,116

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年１月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	178,792	130,980
短期借入金	3,422,674	5,097,612
未払金	110,846	45,009
未払費用	328,574	258,068
未払法人税等	272,583	79,425
未払消費税等	36,916	9,809
賞与引当金	43,660	97,064
その他	230,387	305,439
流動負債合計	4,624,435	6,023,408
固定負債		
社債	1,700,000	1,700,000
長期借入金	9,481,914	8,561,422
長期預り保証金	2,293,466	2,270,082
繰延税金負債	1,358,451	1,348,045
再評価に係る繰延税金負債	2,420,920	2,420,920
退職給付引当金	182,994	234,568
固定負債合計	17,437,748	16,535,039
負債合計	22,062,183	22,558,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	66,506	66,506
利益剰余金	4,340,865	4,390,718
自己株式	△91,857	△93,255
株主資本合計	5,115,514	5,163,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,453	102,213
土地再評価差額金	3,374,484	3,374,484
その他の包括利益累計額合計	3,444,938	3,476,698
純資産合計	8,560,453	8,640,668
負債純資産合計	30,622,636	31,199,116

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年10月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年10月31日）
売上高	5,146,429	5,307,598
売上原価	4,081,592	4,298,612
売上総利益	1,064,836	1,008,985
一般管理費	618,707	636,092
営業利益	446,128	372,893
営業外収益		
受取利息	6,419	6,803
受取配当金	2,890	3,561
協賛金収入	3,047	3,047
その他	2,046	5,474
営業外収益合計	14,404	18,887
営業外費用		
支払利息	132,707	129,394
その他	18,545	14,126
営業外費用合計	151,252	143,521
経常利益	309,279	248,259
特別利益		
投資損失引当金戻入額	－	1,724
補助金収入	3,771	－
特別利益合計	3,771	1,724
特別損失		
固定資産除却損	38,319	18,753
OSシネマズ神戸ハーバーランド開業費用	－	17,586
固定資産圧縮損	3,771	－
特別損失合計	42,090	36,339
税金等調整前四半期純利益	270,960	213,644
法人税、住民税及び事業税	162,843	107,133
法人税等調整額	△49,810	△22,600
法人税等合計	113,033	84,532
少数株主損益調整前四半期純利益	157,926	129,111
四半期純利益	157,926	129,111

(四半期連結包括利益計算書)
(第３四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成24年２月１日 至 平成24年10月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成25年２月１日 至 平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	157,926	129,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,748	31,759
その他の包括利益合計	15,748	31,759
四半期包括利益	173,675	160,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,675	160,871
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間(自 平成24年２月１日 至 平成24年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	映画事業	不動産賃貸・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額(注２)
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,790,857	2,220,109	475,153	282,065	378,243	5,146,429	―	5,146,429
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	―	130,816	―	―	―	130,816	△130,816	―
計	1,790,857	2,350,926	475,153	282,065	378,243	5,277,245	△130,816	5,146,429
セグメント利益	110,412	743,536	45,870	16,179	56,514	972,512	△526,384	446,128

（注）１．セグメント利益の調整額△526,384千円には、セグメント間取引消去△2,143千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△524,241千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間(自 平成25年２月１日 至 平成25年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	映画事業	不動産賃貸・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額(注２)
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,009,768	2,101,357	508,557	297,872	390,042	5,307,598	―	5,307,598
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	―	115,864	―	―	―	115,864	△115,864	―
計	2,009,768	2,217,221	508,557	297,872	390,042	5,423,462	△115,864	5,307,598
セグメント利益	94,373	669,271	89,875	12,783	58,624	924,927	△552,034	372,893

（注）１．セグメント利益の調整額△552,034千円には、セグメント間取引消去△2,325千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△549,709千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。